

令和4年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号	17
部	子ども健康部	課	子育て支援課

1. 指定概要

施設概要	名称	北里こどもの家		建設年	平成26年			
	所在地	近江八幡市江頭町1014		利用対象	地域			
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。						
	規模	延べ床面積147㎡、階数 地上1階						
指定管理者	指定管理開始年度	令和2年						
	名称	一般社団法人 おうみ育ちの家						
指定管理者	所在地	近江八幡市江頭町1014						
	指定管理業務の内容	①こどもの家の利用に関する業務 ②こどもの家の施設の維持管理に関する業務 ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務						
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日 (5年間)							
指定管理料	平成31(令和元)年度:	千円	令和2年度:	千円	令和3年度:	千円	令和4年度:	千円(見込)
利用料金制	採用している		選定方式	公募	応募者数	1者		

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和4年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備を実施 ・ 日常の掃除、施設の安全点検、除草作業等、支援員が随時実施 ・ 保護者会の奉仕作業の実施	(よかったと評価できる事項) 児童の安全確保に努め、適切に施設の維持管理を実施した。 (改善を要した事項と対応) 特になし (課題) 備品の管理状況の把握が一部不十分である。
	(施設サービスの運営向上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換、送迎時の意見交換による。 ②利用料金の徴収 毎月徴収 令和4年度7,160千円 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 延長19時まで実施	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、事業が実施された。 (改善を要した事項と対応) 不適切な保育があったため、職員の研修等再発防止を図った。 (課題) 情報公開規定等を定められていない。
	(提案内容の実施業務) 自主事業 その他の業務	なし		(よかったと評価できる事項) (改善を要した事項と対応) (課題)

施設設置の目的達成状況	(施設利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・開設日数： 256日 ・延べ利用者数：10,161名 ・平均登録児童数：60名 	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、施設利用が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

	前年度実績	令和4年度実績	(よかったと評価できる事項)
収支状況	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。	市補助金支給要綱に基づき適正に運営された。
	<参考> ■収入 (14,355千円) 保育料等 5,783千円 補助金 8,571千円 ■支出 (15,660千円) 人件費 14,682千円 管理運営費 978千円	<参考> ■収入 (18,603千円) 保育料等 7,160千円 補助金 11,443千円 ■支出 (18,654千円) 人件費 16,649千円 管理運営費 2,005千円	(改善を要した事項と対応) 特になし
			(課題) 特になし

4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	毎日のお迎え時に必ず保護者とお話をさせて頂いて、時に当クラブの内容について意見を求め、年に1度の懇談会に合わせ、いつでも相談意見が上げられるよう態勢を整えている。
評価頂いている内容	① 支援員が毎日お子さんのお話をさせて頂く事で安心して預けられること、② 児童の学習面について保護者と共有すること、③おやつ時などの衛生管理、④ 夏休みなどのイベント行事の豊富さ、⑤ 支援員の挨拶など。
苦情・意見等	① おやつが多いので残したい(半分は食べようと声掛けをしていたが、令和5年度からすべて残しているようにしている。) ② 支援員が児童の忘れ物に気づけず、連絡して取りに来てもらう事。

5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

大変ではあると思いますが、文面だけの評価ではなく、年に一回は市職員が現場研修を行われてはどうかと考えます。それを行なう事により、事業者の保育内容が手に取るように分かると考えます。それにより双方が評価を行なえる利点があると思います。今回も決算書と予算書を春休みの最中に行われましたが、非常に大変であります。その時期の保育現場を確認して回られては如何でしょうか。

6. 指定管理者の自己評価コメント

令和4年度は、不適切保育と色々な問題点があり、大変ではありましたが。当法人としては、色々な問題点が明るみに出た事で、今後の保育に活かせる術を戴けたと思い感謝し今後に活かしていきたいと思っております。

7. 所属の総括コメント

国や市の基準に基づく事業運営がなされている。また、地域とのつながりを大切にした活動をとり入れる等の工夫や姿勢など評価している。一方で、不適切な保育があったため、今後は職員への研修の強化やマニュアルの整備等を実施し、再発防止に努めていただきたい。